

能 卷

部ノ男 石井 寛人
巫女 鈴木 啓吾
臣下 大日方 寛
下人 山本 凜太郎

大鼓 原岡 一之 太鼓 大川 典良
小鼓 鶴澤 洋太郎 笛 一噌 隆之

後見 墨 敬子
津村 禮次郎
筒井 陽子
中森 健之介
吉留 敬高
中所 宜夫
新井 麻衣子
佐久間 二郎

〔休憩二十分〕

狂言 伯母ヶ酒

太郎 山本 則重 伯母 若松 隆

仕舞 東 北 知 章
津村 禮次郎
奥川 恒治

海 士 杉澤 陽子
中所 宜夫
桑田 貴志

〔休憩十五分〕

能 國 栖

侍臣 野口 能弘
奥昇 野口 琢弘
奥昇 吉田 祐一

大鼓 佃 良勝 太鼓 澤田 晃良
小鼓 曾和 正博 笛 杉 信太郎

後見 中森 健之介
奥川 恒治
石井 寛人
永島 充
藤村 答
中森 貫太
桑田 貴志
中所 宜夫

〔終了予定 午後四時三十分〕

許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切り下さい。演能や他のお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場頂く事もございますのでご了承下さい。

能…卷絹(まきぎぬ)

三熊野に巻絹千匹を奉納しよう勅命が下った。都から巻絹を運ぶ男(ツシ)は熊野までやつて来たものの、先に音無天神社に詣でる。そこで梅の香に誘われて見事な花に見入り時を過ぎすが、心中に首の和歌を天神に捧げた。その後本宮に巻絹を献上するが、既に期限を過ぎており、勅使(ツキ)は男を咎めて縛り上げる。その時一人の巫女(シテ)が現れ、「その男は歌を詠んで私に手向けた者であるから、縄を解いて許せ」と勅使に告げる。それは巫女を通して告げられた神の言葉だった。勅使は男の身分の低さに和歌の嗜みなどあるまいと疑うが、巫女は男に歌の上の句を詠ませ、自分が下の句を継いで疑いを晴らす。男は許され、巫女は和歌の持つ功德を曲舞に舞う。勅使は巫女に神上げを勧め、巫女は祝詞を奏上し神楽を舞う。それでも神は巫女から離れない。熊野の神々の名を二柱ずつ言挙げするうちに狂乱の態となり、漸く巫女は本性に戻る。

この曲で舞われる「神楽」は、憑依している神を巫女から離すための舞だが、常ならばそれでこと足りるはずが、さらに「神語り」の狂乱となる。男のために巫女に取り憑いた神は数知れず、和歌を手向けることの功德の高さが窺われる。

狂言…伯母ヶ酒(おぼがさけ)

酒屋を営む伯母のもとへ甥の太郎がやつてくる。太郎はいたつての酒好き。だが伯母は一度も酒を振る舞ってはくれない。今日こそは何とか飲ませてもらおうと策を講じるが、やはり飲ませてはもらえない。そこで、最近この辺りには鬼が出るので気をつけるように言い残して帰る…と見せかけ鬼に変装して伯母の家に引き返し、伯母を脅して酒を飲むが…。

仕舞…知章(ともあきら)

二ノ谷の合戦。平知盛の危機を救ったものの、遂には敵方に討たれてしまった嫡子、平

知章。能ではその最期を知章の霊が旅の僧に語り、回向を頼む。

仕舞…東北(とうほく)

かつて東北院の門前に停められた牛車から響く御堂関白藤原道長の誦誦する『法華経』の「譬諭品」を聞き、迷いの世界である「火宅」を出たいと切に願った和泉式部は歌舞の菩薩となった。和歌の徳を讃え、東北院の風情を賞で、昔を懐かしみつつ舞を舞う。

仕舞…海士(あま)

讃岐国、志度の浦の沖で龍宮に取られた宝珠「面向不背」を取り戻し、命を落とした海士を母としてこの世に生を受けた藤原房前。志度寺で母の回向をする房前の前に龍女の姿となって現れた海士の霊は、女人の成仏を説く「妙法蓮華経」の世界観を舞に舞い、成仏への確信を得る。

能…國栖(くす)

都を追われた浄見原の天皇(子方)は吉野川の畔にて庵に入る。昔から尊き方のいらつしやる場所には「紫雲がたなびく」というが、我が家の上にとそれを見た老夫婦(前シテ・前ツレ)は、天子とまみえることとなり、供御として芹と焼鮎を奉る。残りの焼鮎を川に放し、天皇が再び都に還幸できるかを占う翁であったが、果たして鮎は、生き返るのであった。そこへ追手(間狂言)が来る…老夫婦は船の中に天皇を隠し、それを怪しむ追手を、知恵と言葉を尽くして退散させた。そして音楽によるお慰みをと申し上げるうちに、天女(後ツレ)が現れて舞を舞い、ついで蔵王権現(後シテ)が姿を現し、豪快に舞いながら聖代を寿ぐのであった。

前半は現在能のようでありながら、後半は神能的要素を取り入れる展開となっている。劇的緊迫感とともに、祝言性も兼ね備えており、見所の多い作品である。

2023. 1.22 (日) PM1:00 (開場 12:00)

喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 品川区上大崎 4-6-9
☎ 03-3491-8813

JR・東急目黒線・地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩 7 分
香港園手前の道を左折し約 400m 直進、杉野学園体育館手前を左に入る。

※ 駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



入場料

会員券 (年4回) 一般 20,000 円 学生 10,000 円
1 回券 (当日券) 一般 6,000 円 学生 3,000 円

申込先: 各出演能楽師または緑泉会まで

鈴木 啓吾 TEL&FAX 03-3269-7018
坂 真太郎 TEL 03-3873-5404
FAX 03-3873-5635

令和5年度 第1回例会 2023年4月2日(日)

能…演目未定 …………… 新井 麻衣子
能…演目未定 …………… 津村 禮次郎

喜多能楽堂では令和5年度より大規模改修工事を行うため、例会会場が矢来能楽堂に変更となります。ご了承ください。